桧沢川の堤防をウォーキングコースに

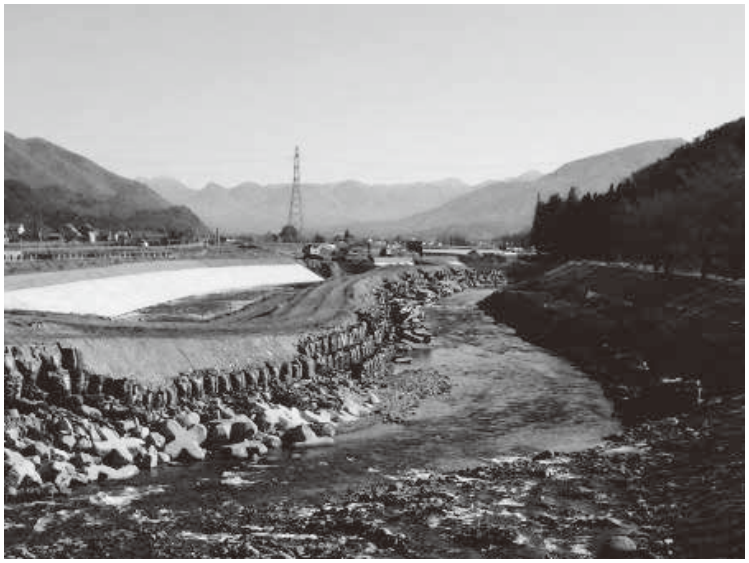
町長＝どのような課題があるか調査検討する

問 桧沢川改修工事が2年後完成予定ですが、ウォーキングコースなどとして、堤防の活用はできないか。

それにより、新たな観光スポットとなるのでは。

町長 堤防を使ったコースは、河川管理の県との協議が必要となります。

今後、復旧工事の進捗状況を見極めながら、町民などの健康づくりを含め、ウォーキングコースの設定にはどのような課題があるか調査、検討していきます。



桧沢川改修工事のようす（平成29年12月3日撮影）

地域おこし協力隊へのサポート態勢は

町長＝隊員が安心して活動できる態勢を整えている

問 町では、3人の隊員が各地区で活躍しています。

地域おこし協力隊の町の認識は。

町長 地域外の人材を積極的に招き、地域の活性化や産業振興に向け、意欲のある人に本町へ移住していただき、地域活性化の起爆剤になってほしいと考えています。

問 隊員に対して助言する方や、隊員からの相談を受ける態勢はできているか。

町長 隊員の配属先の担当職員がその役割を担っていますが、担当職員だけで解決できない場合は総合政策課が相談を受け、隊員が安心して活動できる態勢を整えています。

「南会津ドローン推進協議会」の設立を

町長＝総合的に判断

問 ドローンの積極的な利活用に向け、関係者・団体の参加をいただき、町が中心となって「南会津ドローン推進協議会」を設立しては。

町長 ドローンの活用は、さまざまな分野で民間参入が進んでおり、協議会を設立することで町民福祉の向上や新たな分野での産業創出がなされるかなど、総合的に判断していきます。

その他の質問

・田島地域にも集落支援員を配置し、全地区の公平な活性化を